

FUKUCHI

Public
Relations

No.107
November

広報ふくち



一步まちの外に出てみると、「福智町」の認知度はまだまだ低いことを実感します。
すぐれた観光資源が揃っていても、“知らない”ところには人は集まりません。

炭鉱で栄えたかつての熱気と活気を、再びこの地を集めるためには、
このまちをもっと“知ってもらう”ためのきっかけ作りが重要です。

人や物、文化などの“ならでは”を集結して仕掛ける、
まちの活性化への第一歩「福智スイーツ大茶会」。
今年もまた、もえぎの旗が秋風に揺れました。

特集 “ならでは” が鍵



開場を前に 300 人以上の長蛇の列ができた金田ドーム。パンフレットを手にお目当ての逸品の場所を確認する姿が印象的でした。